

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅠ後（Seminar 1） 261043-14000					担当教員	複数人		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要
<p>ホームルーム的役割を持ちつつ、(1)調査研究の進め方、(2) 調査研究の成果表現法、(3)「社会人基礎力」向上、の実現を目標とする授業である。2年次以降の様々な専門授業において、調査研究を進めてその成果の取りまとめることができるようになることを目指す。</p> <p>(1)と(2)については、入門的な調査研究を進めて、期末にレジユメないしレポートを用意し、授業内でスピーチを実施すること目標とする。</p> <p>(3)については、前期ゼミに引き続き、社会人基礎力向上にむけたグループワーク等に取り組む。あわせて、米百俵ドリル等により国語・社会の基礎知識の醸成も図る。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
<p>地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力を育成する授業である。</p>
③ 授業の進め方・指示事項
<p>毎回、調査研究の進め方、成果の整理とプレゼンテーションなどに関して配布資料等により解説を行い、その内容にもとづいて各自が実践する。期末のレポート完成とプレゼンテーション実施に向けて、適宜課題を課し、平素からの学びの成果を確認する。米百俵ドリルなどを用いた時間外の課題へも取り組む。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
<p>「ゼミナールⅠ前」「キャンパスライフ入門」「キャリア開発Ⅰ」</p>
⑤ 標準的な達成レベルの目安
<p>(i) 調査研究の進め方を習得し、調査研究のレポートないしレジユメを作成できた。</p> <p>(ii) 調査研究の成果をスピーチにより発表できた。</p> <p>(iii) 「社会人基礎力」および国語・社会の基礎知識を向上した。</p>
⑥ テキスト（教科書）
<p>山田剛史・林創（2011）『大学生のためのリサーチリテラシー入門』ミネルヴァ書房、その他、必要に応じて資料・レジユメ等を配布する。</p>
⑦ 参考図書・指定図書
<p>佐藤智明,矢島彰,山本明志編(2014)『大学学びのことはじめ初年次セミナーワークブック 3 訂』ナカニシヤ。その他、新書リストの図書。</p>

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法							
具体的な学習到達目標	試験	振り返り 小テスト 等	課題	レポート /レジュ メ	授業での 発表、参加 意欲等	その他 (米百俵 ドリル)	合計
総合評価割合			40%	20%	28%	12%	100%
(i) 調査研究の進め方の習得と実践			20%		10%		30%
(ii) 調査研究の成果とりまとめと発表			20%	20%	10%		50%
(iii) 「社会人基礎力」、国語・社会の基礎知識向上					8%	12%	20%
フィードバックの方法	課題・発表等に対する評価は、その都度個別にフィードバックする。						

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
各自が2年次以降の様々な専門授業において調査研究を進める能力を醸成できるよう、全ゼミで歩調を合わせて取り組んでいく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション、自己紹介	筆記用具	次回授業内容の予習課題への取り組み グループワークの準備	60分
2	課題発見力①（概要、課題発見の方法、研究の問の立て方）、グループワーク/ディスカッション（その1）	筆記用具、教科書	レポートで取り組む分野・範囲を絞る。テーマを検討する。 米百俵ドリル①	90分
3	課題発見力②（テーマ設定）	筆記用具、教科書	各自がレポートで取り組む分野・範囲を絞りテーマを検討する。 米百俵ドリル②	90分
4	情報収集法①（概要、文献検索と情報収集）	筆記用具、教科書	授業で取り上げた情報収集法によりレポートテーマに関連する情報を収集する。 グループワークの準備 米百俵ドリル③	90分
5	情報収集法②（図書館活用法、	筆記用具、教科	授業で取り上げた情報収集法によ	90分

	インターネット情報活用法) グループワーク／ディスカッション (その2)	書	りレポートテーマに関連する情報を収集する。 米百俵ドリル④	
6	情報収集法③ (ヒアリング、アンケート等の調査法について)	筆記用具、教科書	授業で取り上げた調査法 (ヒアリング、アンケート等) の復習 米百俵ドリル⑤	90分
7	情報整理法 (概要、書類等の整理と管理、PC による情報管理法)	筆記用具、教科書	Word、Excel 等を活用し、これまで収集したレポート関連の情報を整理する。 グループワークの準備 米百俵ドリル⑥	90分
8	データ分析法① (基本的なグラフ作成、グラフ読み取り) グループワーク／ディスカッション (その3)	筆記用具、教科書	グラフに関する授業内容の復習とグラフ作成の課題に取り組む。 米百俵ドリル⑧	90分
9	データ分析法② (統計の基本：代表値について)	筆記用具、教科書	代表値等に関する授業内容の復習と関連の課題に取り組む。 米百俵ドリル⑨	90分
10	データ分析法③ (統計の基本：ちらばり等について)	筆記用具、教科書	ちらばり等に関する授業内容の復習と関連の課題に取り組む。 グループワークの準備 米百俵ドリル⑩	90分
11	データ分析法④ (統計の基本：数値データの処理のまとめ) グループワーク／ディスカッション (その4)	筆記用具、教科書	データ処理に関する授業内容の復習と関連の課題に取り組む。 米百俵ドリル⑪	90分
12	レポート作成とプレゼンテーションの準備① (レポート作成法の振り返りと実践)	筆記用具、教科書	レポート作成法の振り返り、レポート作成。 米百俵ドリル⑫	90分
13	レポート作成とプレゼンテーションの準備② (プレゼンテーションの準備、レジュメ作成法の振り返りと実践)	筆記用具、教科書	レポート作成の継続、プレゼンテーションの内容・組み立ての検討、レジュメ作成の準備	90分
14	レポート作成とプレゼンテーションの準備③ (プレゼンテーション内容の組み立て、レジュメ作成、発表練習)	筆記用具、教科書	レポート作成の継続、プレゼンテーションの内容・組み立ての検討、レジュメ作成	90分

15	レジюмеに基づいた調査レポートの発表、全体振り返り	筆記用具、教科書	レポートとレジюмеの完成、発表練習、これまでの授業のポイントの振り返り	90分
----	----------------------------	----------	--------------------------------------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL/協同学修型 AL を採用する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				